

〈70年の恵みの土台に立って〉

ハガイ 2 : 3 ~ 9

【背景】

バビロン捕囚から解かれて故郷の地に帰還した民に、神は預言者ハガイを通して語られた。第1陣を率いて帰還したのはゼルバベル。そこで民が目にしたのは、廃墟となった神殿だった。民は神殿再建に取りかかり、立ちはだかる問題を乗り越えて、ようやく礎が完成した。それを見た捕囚前の荘厳なソロモンの神殿を知っている年長者たちは、その貧相な有様に泣いた。一方その時代を知らない他の者たちは、歓喜の声に溢れた。

1、強くあれ！

あなたがたのうち、以前の栄光に輝くこの宮を見たことのある、生き残った者はだれか。

あなたがたの目には、まるで無いに等しいのではないか。【3節】

- ・ 神に背を向け続けたゆえの刈取り、代償の大きさを思っただけで嘆きがあった。
- ・ 貧相なのを見て、今後、かつてのような輝かしい将来がやってくるとは思えなかった
あなたがたは、今これをどう見ているのか？

しかし、ゼルバベルよ。今、強くあれ。—主の御告げ—エホツァダクの子、大祭司ヨシュアよ。
強くあれ。この国のすべての民よ。強くあれ。—主の御告げ—仕事に取りかかれ。わたしが
あなたがたとともにいるからだ。一万軍の主の御告げ— 【4節】

- ◆ 問題の壁が立ちはだかって、欠乏を覚える時でも、神の権能がとどまっている。

重要な歴史の場面で語られた「強くあれ！」

①約束の地に入る前、しり込みするような状況のヨシュア

ついで主は、ヌンの子ヨシュアに命じて言われた。「強くあれ。雄雄しくあれ。あなたはイスラエル人を、わたしが彼らに誓った地に導き入れなければならないのだ、わたしが、あなたとともにいる。」

申命記 31 : 23

②ソロモンが父ダビデから神殿建設を託された際

恐れてはならない。おののいてはならない。神である主、私の神が、あなたとともにおられるのだから。主は、宮の奉仕のすべての仕事を完成させてくださる。

I 歴代 28 : 20

あなたがたがエジプトから出て来たとき、わたしがあなたがたと結んだ約束により、わたしの霊があなたがたの間で働いている。恐れるな。まことに、万軍の主はこう仰せられる。しばらくして、もう一度、わたしは天と地と、海と陸とを揺り動かす。わたしは、すべての国々を揺り動かす。すべての国々の宝物がもたらされ、わたしはこの宮を栄光で満たす。万軍の主は仰せられる。銀はわたしのもの。金もわたしのもの。—万軍の主の御告げ— 【4～8節】

2、貫かれて在る祝福 過去～現在～未来

「この宮のこれから後の栄光は、先のものよりまさろう」万軍の主は仰せられる。

わたしはまた、この所に平和を与える。万軍の主の御告げ 9節

尾上聖愛教会の今までの道のりにも、喜びと活気に満ちた順風漫帆な時代があり、呻きの祈りが続く忍耐の時もあった。過去の苦しみの中にも変わらず力強い主の御手があつて、それが後の神の栄光を表す道につながっている。

3、ビジョン・神の約束を握る

「幻のない民は滅びる」 箴言 29 : 18 (欽定訳)

幻・・・将来に対しての具体像。

クリスチャンが持つ夢・ビジョンとは・・・？

